



メラだより



食と職を知る

かりがね小学校(6月7日)



「夢に向かって進もう」をテーマに行われた授業の中で児童が作ったのは、刈谷の郷土料理の芋川うどん。うどん作りに取り組む講師の話聞き、実際に体験し、働くことについて考える良い機会となりました。初めての作業に戸惑いながらも、最後は職人さながらの表情を見せ、うどんが完成。「いつものうどんよりも食べ応えがあっておいしい」と笑顔で話しました。

水の中にはどんな生き物がいる?

森前川(6月8日)



双葉小学校4年生が刈谷環境支援員の協力のもと、水生生物調査を行いました。始めは恐る恐る川に入った児童も、途中からは生き物探しに夢中に。見たことのない生き物が捕れると児童たちはそこに集まり、目を輝かせていました。最後は川にいた生き物と水質の関係について学び、児童からは「またやりたい」という声が聞こえてきました。

いろいろなことができる自分になる

重原バンシャ(6月9日)



テント張り、火おこし、飯ごう炊飯などの野外活動を行ったのはガールスカウト愛知県第103団の皆さん。

リーダーからやり方を教わりながら、自分で考え、行動します。何をして遊ぶか決める時も、みんなで意見を出し合い、話し合って決定。夏休みに行くキャンプに向けて、余念がありません。

駆け抜けろ! 火の番人

総合運動公園(6月10日)



消防団員による操法競技会が行われました。消火活動の基本となるポンプ車操法における動作の確実性と、放水によりの倒すまでの所要時間を競いました。今年は女性団員7人全員が選手として参加し、大活躍。迫力のある号令や機敏な動き、力強い放水で見る人を圧倒しました。まちの安心を守るため、消防団員の皆さんが訓練をしてきた成果を見ることができました。